

# 令和2(2020)年度 事業報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日

特定非営利活動法人 横浜発明振興会

| 項  | 事業名                                | 具体的な事業内容   | 結果   |
|----|------------------------------------|--|--|
| 1  | 発明・考案に係る発表会と勉強会の開催事業(内部的・定例会)      | 発明・考案した作品の発表、研究会、講演会 (日曜発明教室を開催)   | ハマ発明教室は、新型コロナウイルス感染症の影響により、4・5・12月休会。<br>6～11月は集合型開催でオンライン中継を試みた。<br>1月からオンライン開催に変更して再開した。                                   |
| 2  | 会報「ハマ発明ニュース」発行                     | 毎月発行   | コロナ禍だったが、毎月発行した(年12回)。   |
| 3  | 広報活動<br>ホームページの充実<br>HP・LAN整備      | リアルタイムで情報の発信。  | ①新旧ホームページの統合化作業開始<br>②日本テレビ(ニノさん)TV放映で、当会、並びに発明品が紹介された。<br>③新ホームページ内に「会員発明品紹介ページ」2種新設、「会員専用ページ」新設、利用開始<br>④「会員発明品紹介」掲載ルールの整備 |
| 4  | 先行技術文献の調査・検索事業<br>特別支援活動           | 先願人の権利範囲、調査<br>ハマ発方式有望アイデア特別支援活動   | ・ハマ発明教室で「ここでだけ教えます 特許調査のツボ」と題し講義を実施<br>・1名の会員に対して、特許出願のための先願特許調査支援を実施  |
| 5  | 試作サポート事業<br>3D製作支援                 | 発明考案したものを形にしてあげる。(試作支援)  | 具体的な支援依頼はなかった。 但し、会員相互間の非公式支援は実施されていた。   |
| 6  | 発明・考案の展示発表と体験会の開催事業(対外的)           | 発明・考案品 県下イベントに参加、作品の紹介、説明会の実施。(発明・考案の楽しさを知ってもらう。)                              | コロナ禍により、10月開催予定の、なか区民活動センターまつりは中止となった。品川・大崎で開催予定のゆめ棧橋も開催中止。  |
| 7  | 発明・考案出前教室の開催事業(自主講座)               | 発明・考案について出前教室を開かせてもらい興味を抱いてもらう。  | コロナ禍により、具体的な計画を立てられず、未実施。  |
| 8  | 各自治体・団体等の出前授業・講座への講師登録と講座の実施(受託講座) | 神奈川県環境農政局、KISTECに登録し受託した出前授業を実施する。<br>神奈川県青少年科学体験活動推進協議会                       | ・NPO法人横浜移動サービス協議会の依頼により「世界でたった一つのモノづくり」と題して出前講座を実施。  |
| 9  | 老健施設、病院・リハビリセンターなどへの慰問と交流に関する事業    | 入院患者、高齢者に楽しんで貰える発明品を持ち込んで発明・考案の楽しさを体得してもらい、シニアの豊かな経験や知識をもって新たな閃きをとともに協同開発を目指す。 | コロナ禍により、具体的な計画を立てられず、未実施。  |
| 10 | 当会の活動記録のデータベース化                    | (追加実施)   | メールアドレス取得契約元「さくらインターネットサービス」の契約メモリーの空き容量を利用した付帯サービス(さくらポケット)を利用し、当会活動記録のデータ収録を開始した。  |